

事務事業					ザイムスコード及び個別事業名		
No./名称	■サービス部門 こどもー18 育児支援事業				64	育児支援事業	
主管課	こども相談課	関連課			788	育児支援事業	
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
	利用者数	28,804人	30,245人				
運営資源 状況	決算値	23,546千円	23,415千円		指標と評価		
	(国・県)	9,252千円	9,206千円				
	(負担金等)				指標	子育て支援センター利用者	
	(一般財源)	14,294千円	14,209千円		評価	△	
	人員配置数	0.2人	0.5人		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人件費	1,861千円	4,812千円			目標値	実績値
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	25,407千円	28,227千円		20年度	27,000	30,245
	市民1人当りの経費	144円	160円		21年度	30,000	28,804
	対象者1人当りの経費	882円	933円		22年度	30,000	
ベンチマーク (県内外自治体や民間 団体との比較値)	団体名				23年度	31,000	
					最終年度 (年度)	32,000	
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)					
		子育て支援センターの運営改善に利用者の声を十分に反映することが出来なかった。					
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)					
		子育て支援センター指定管理者と共同で利用者アンケートを行い、利用者のニーズ把握に努めた。					
未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)						
	子育て支援センターの利用者を地域別に見ると、鎌倉・深沢・大船地域と腰越・玉縄地域の利用者数に大きな隔りがあり、未設置地域への利用者の利便を図る必要がある。また、利用者から開館時間の延長及びプログラムの実施についての要望があった。						
今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)						
	子育て支援センターの利用者の利用実態から、施設を設置済の鎌倉・深沢・大船地域の利用者と未設置の腰越・玉縄地域の利用者数に大きな隔りがあった。身近な施設で気軽に利用でき、地域での仲間作り及び子育てに関する相談を充実するために、特に人口増加が大きい玉縄地域への施設整備を検討していきたい。 また、開館時間の延長及びプログラムの実施について、検討していきたい。						
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性		
A	有	子育て支援センターの周知を図るとともに、子育て支援事業の充実を図る。		A	有	地域の子育て支援の拠点としての役割を今後も拡充していく。	
課長名		田中 誠也		部名・部長名		こどもみらい部 佐藤 尚之	